



持続可能な社会・学校

コロナの規制が緩和され、せき止められていた水が、いきおいよく流れ出したように、今までストップしていた活動がずいぶん増えたように感じます。



これまでの家を中心とした内向きの活動から、外向きの活動やイベントが急に増えてきたので、社会全体が活気づいてきた半面、元に戻し過ぎじゃないかという意見もあり、自分のペースをしっかりとつかんでおかないといけないのだろうと感じる今日この頃です。

先日家のかたづけをしていたとき、平成元年(1989年)当時の旧三好郡(8か町村)時代の資料を見つけました。その当時、旧三好郡(東みよし町・三好市)では、小学校が50校あり、児童数が約4300名でした。それから約35年が経ち、今では、小学校が17校で、児童数が2000人と、**30年で半分以下**になりました。しかし、当時は、それほど行事もなく、ゆったりとした時間が流れていたように思います。

そして、だんだんと子供達が体験できる学校内外の活動や新しい教科等が増え、そのことが子どもの選択肢を増やした半面、逆に子供達への負担が増すことにもなりました。



コロナ禍を経験し、行事や会合など、これはなくても大丈夫じゃないかということに気付いたことも多く、あらゆる活動が、いろいろやり過ぎ、どんどん山盛りになっていることに気付かされました。

2010年を境に、日本中の人口が減少してきています。特に、三好郡市のような中山間地域においては、そ

の減少度合いが大きく、人が関わるあらゆる活動がやりにくくなってきています。保護者の皆さんの仕事の上でも、人が集まらなくて困っているという状況があるのではないのでしょうか。



そんな中人口はこれ以上増えないという前提で、あらゆることをコンパクトにしていくという現実的な提案がなされるようになってきました。これらは、**コンパクトシティ**という言い方になると思いますが、派手になってきた部分をもう一度見直して、コンパクトにしていくことが、**持続可能な社会**を形づくることになるという動きです。

学校も同じで、昔に比べ授業時数が増え、教科書が厚くなり、様々な有益な(と考える)活動が混在する中、これからの社会を生きる子供達に必要な、資質能力の育成のために、それらを**常時見直し****ながら、学校を運営**していきますので、ご理解賜りますようお願いいたします。



かわいい子供達

運動場で遊んでいる子供達を見ていると、学年の枠を超え思い思いに楽しい時間をすごしているように思います。182名の子供達1人1人が、我が子、いや、わが孫のように思えて仕方ありません。子供達が下校する様子を見ながら、今日一日、この子供達が満足して学校生活を送ったのかなと、顔を見ながら思いを募らせております。



学校生活や家での生活では、時には、失敗をして辛くなることもあるかも知れませんが、むしろ“**取り返しのつくうちに小さな失敗を経験しておくこと**”が大事だと、「タカ サカモト」という方が本で述べています。失敗した後は、次は気をつけようと思うはずです。それが子どもにとっての成長です。大

人が先回りして、子どもが失敗しないようにすることは、子どもの成長のチャンスを奪っているかもしれないと思うと、子どもへの声のかけ方も違ってくるのではないかと思います。

家庭のWifi環境整備のお願い

4月当初よりご迷惑をおかけしておりました、GIGA端末(タブレット)の諸課題が解決しましたので、昨年度のように**学年に応じた持ち帰りを開始**します。GIGAスクール構想では、**学校でも、家庭でも、同じように学びを続けられること**が、これからの学びであるとされ、常に学び続ける習慣を小学生の頃から身につけることをめざしています。

昨今の異常気象や、地震、ミサイル、不審者、新たな感染症、野獣対応など、あ



る日突然、子供達が家庭で待機しなくてはならないことも考えられます。その際、タブレットを通して、学校や担任と連絡を取れる手段を用意することが、危機管理の上からも重要となってきております。

そして、これらのことは、**毎日使っているからこそ、有事の際に活かされる**のであって、たまにしか使わない仕組みでは、本当に必要なときに使えないことが起こります。



そこで、タブレットでこのような使い方をするには、**ご家庭のWifi等で、インターネットにつながっていること**が必須条件となってきます。是非この意味をご理解いただき、

全てのご家庭で、Wifi等を利用し、タブレットからのインターネット接続ができますよう、ご準備ください。

なお、インターネット環境の整備に関する細かい相談等は、学校で対応しますので、お気軽にご相談ください。

